

移住者と連帯する
全国フォーラム
東京 2019

であかん
出会う、感じる

たみんぞく たぶんかきょうせいしゃかい
多民族・多文化共生社会

かんが
～いっしょに考え、ともにつくろう～

2019年 6月1日(土)～2日(日)

日本教育会館 (東京都千代田区一ツ橋 2-6-2)

*最寄駅：神保町駅 徒歩 5分 / 竹橋駅 徒歩 5分 / JR 水道橋駅 徒歩 15分



サヘル・ローズさん



矢野デイビットさん

プログラム

6月1日(土) 受付 12:45- / 13:15 ~ 17:00

13:30 ~ 15:00 ダイアローグ

「わたしたちは ここにいる ~多民族・多文化共生社会の今、そしてこれから」

メインスピーカー

サヘル・ローズさん (女優・タレント・キャスター)

矢野 デイビットさん (ミュージシャン・Enije 代表・明星大学客員講師)

ファシリテーター グレンダ・ロバーツさん (早稲田大学大学院教員)

15:15 ~ 17:00 分科会 (15分科会、裏面をご覧ください)

*終了後、交流会(会場：連合会館、事前申込制)があります。

6月2日(日) 受付 8:45- / 9:15 ~ 11:45

9:30 ~ 全体会「どうなる、どうする移民政策」

参加申込方法

～どなたでも、ご参加いただけます。

申込締切：5月10日(金)

- * ホームページからオンラインでお申し込みください。
- * 会場には定員があります。お早めにお申し込み下さい。
- * 参加費(資料代込み)：
一般 3,000円、高校生・学部生 2,000円
- * 交流会費：
一般 3,000円、学生 2,000円



申込ページ QR コード

<http://tokyoforum2019.migrants.jp>

【問い合わせ先】

移住者と連帯する全国フォーラム・東京 2019 実行委員会

〒110-0005 東京台東区上野 1-12-6 3F 移住連気付

Tel: 03-3837-2316 Fax: 03-3837-2317

E-mail: tokyoforum2019@migrants.jp

賛同団体・賛同金募集中!

ホームページからオンラインでお振込できます。ご賛同いただきました個人・団体のお名前は、配布プログラムに記載させていただきます。匿名も可能です。



移住者と連帯する
全国フォーラム
東京 2019

出会う、感じる多民族・多文化共生社会

2019年6月1日(土)と2日(日)、 20年ぶりに東京で全国フォーラムを開催します！

第二次安倍政権発足以降、成長戦略の名のもとに「外国人材の活用」が推進され、2019年4月には、外国人労働者の新たな受入れが予定されています。その一方で、「移民政策ではない」という主張を堅持する現政権は、すでに日本で暮らし、働き、学んでいる移民・外国人の存在に真摯に向き合うことなく、それゆえ、移民・外国人の権利保障や民族的・文化的アイデンティティの尊重、差別禁止など、共に生きるための法的基盤は未整備のままです。

しかし、実際には、すでに日本は移民社会です。2018年6月末現在の在留外国人数は2,637,251人。敗戦後のサンフランシスコ講和条約発効の1952年4月から2017年までに日本国籍を取得した外国人は累積550,715人。1987年から2017年までに生まれた外国ルーツの日本人は累積610,344人。2017年に日本で生まれた外国人は16,666人——。日本は、確実に多民族・多文化社会になっています。私たちは友人であり、同僚であり、クラスメートであり、隣人であり、そして家族です。

世界各国から多様な人々を迎える2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を前に、まずは「ここにいる」多様な人々の存在に目を向け、多様な人々の思いや状況を理解することで、共に生きる社会をつくっていく必要があるのではないのでしょうか。そのためには、一人ひとりが心を拓き、「日本人」を中心とした社会制度を見直す必要があるでしょう。政府が背を向けているのであれば、私たち市民の手で移民政策をつくっていかねばいけません。

そのような強い思いから、移住者と連帯する全国フォーラム・東京2019を開催することにしました。

サヘル・ローズさん

(女優・タレント・キャスター)

1985年、イラン生まれ。幼少時代を孤児院で過ごし、8歳で養母と来日。様々な苦難を乗り越えながら、高校時代から芸能活動を始め、J-WAVEでラジオDJデビューし、女優、タレント、キャスターとしてTV、ラジオ、映画、舞台と活動中。日本語、ペルシャ語、ダリー語、タジキ語を話し、趣味・特技はテニスや絨毯織りと多彩。主演を務めた「冷たい床-Cold Feet-」では様々な国際映画祭で正式出品され、主演女優賞にノミネートされるなど、女優としても幅広く活動を展開。

芸能活動以外にも、国際人権NGOの「すべての子どもに家庭を」の活動で親善大使を務め、児童養護施設や里親制度に関わる講演会に招聘されるなど、講演のテーマは多岐に渡る。

また、日本の施設への支援活動など、自らの取り組みが認められ、2018年、第9回若者力大賞(社会をより良くするため活躍する若者に送られる賞)を受賞。夢はイランに児童養護施設をつくることで、同じ境遇に苦しんでいる施設の子どもたちを支援し、子どもたちに夢を与えようとしている。

矢野 デイビットさん

(ミュージシャン・Enije代表・明星大学客員講師)

日本人の父とガーナ人の母との間にガーナで生まれる。6歳の時、ガーナで集団強盗に一家が襲われたことをきっかけに日本へ移住。8歳～18歳まで児童養護施設で育つ。学生時代からモデルやCMの仕事を始め、その傍ら、好きだったピアノを通して音楽活動を行う。

現在ではソロ活動のほか、元Jリーガーで作詞作曲家の兄と、薬剤師の弟とのヴォーカルユニットYANO BROTHERSとしてもライブ活動を展開。NHK・Eテレ「ハートネットTV」、日テレ「チカラウタ」などにも出演。25歳の時、ガーナでのとあるストリートチルドレンとの出会いをきっかけに「誰にも守ってもらえない子供たちを守りたい」という想いを抱く。自立支援団体Enijeを設立。2012年に一般社団法人化し、教育を柱にガーナで学校建設や教育する側の教育、運動会やサッカー大会を行いながら支援を続けている。支援とは自尊心を育てることという信念のもと、現地のコミュニティと自立に向けた活動を行う。また国内では楽しんだ代価をチャリティーにする味の素スタジアムでのチャリティーフットサルイベント等を主催。

分科会 6月1日(土) 15:15～17:00

- * 15の分科会に分かれ、テーマごとに報告者からの発表と議論を行います。
- * 分科会には会場定員があります。お早めにお申し込み下さい。

- ・ **入門編** 移住者クイズ！(仮)
- ・ **移住女性** 韓国・日本の移住女性支援の現場から必要な法制度を考える
- ・ **医療・福祉、社会保障** 移民政策の不在がもたらす、移住者医療の危機
- ・ **技能実習** 技能実習制度の実態と新たな外国人労働者受入れ
- ・ **子ども・若者** 移住者の子どもと若者の学びと進路
- ・ **自治体施策** 改定入管法と地方自治体
- ・ **多様なルーツ** 多様なルーツの人々をめぐるメディアと日常生活
- ・ **難民** 逆境を乗り越えてきた人たちと共に考える未来
- ・ **日本語教育** 「働く現場」で求められる「日本語教育」
- ・ **出入国管理** 収容・仮放免の課題と克服
- ・ **ビジネスと人権** ビジネスと人権(サプライチェーン上の人権侵害を中心に)
- ・ **ヘイトスピーチ・人種差別** みんなで人種差別撤廃条例をつくろう
- ・ **母語教育と外国人の生活** 母語、困窮そして自立的生活
- ・ **労働** 移住労働者自身が取り組む多民族・多文化の職場づくり
- ・ **LGBT** 同性カップルの法的保障について～在留資格を中心として～

移住者と連帯する全国フォーラム・東京2019 実行委員会

共同代表

- アンジェロ・イシ (在東京ブラジル総領事館市民代表者会議評議員/武威大学教授)
- 金 竜介 (弁護士/在日コリアン弁護士協会)
- 鈴木 江理子 (移住者と連帯する全国ネットワーク副代表理事/国士館大学教授)
- 鈴木 雅子 (弁護士/全国難民弁護団連絡会議世話人)
- 西川 晋司 (東京都労働組合連合会執行委員長)
- 栞木 典子 (認定NPO法人 多文化共生センター東京代表理事)
- 平野 敏夫 (亀戸ひまわり診療所理事長/全国労働安全衛生センター連絡会議議長)

事務局長

- 渡戸 一郎 (明星大学名誉教授/東京ボランティア・市民活動センター運営委員長)

